

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 19, No. 4 神奈川県立生命の星・地球博物館 Dec., 2013



相模湾に現れた ゴマファザラシ

Phoca largha (Pallas, 1811)

酒匂川河口の岸で休む

ゴマファザラシ

右上：酒匂川河口を泳ぐ

ゴマファザラシ

崎山直夫（新江ノ島水族館）

2013 年 8 月 11 日、酒匂川河口にゴマファザラシが現れました。ベーリング海やオホーツク海を中心に分布する種ですが、稀に関東周辺にも現れることがあります。

実はこれより前にアザラシ出現の情報がありました。同年 7 月 8 日に静岡県沼津市戸田の海水浴場（駿河湾）に現れたアザラシが撮影されていたのです。公開された画像をもとに体の模様を比較してみると同一個体のようです。約 1 ヶ月の間に伊豆半島を廻り込んで相模湾の酒匂川河口にやってきたものと思われます。

当該個体は 9 月の中旬まで同河口周辺にとどまり姿を消しました。その後、同河川の東側、二宮町の袖ヶ浦海岸や境川河口（9 月 23 日頃）、茅ヶ崎漁港（9 月末）、相模川河口（10 月 18 ～ 24 日頃）での目撃情報が寄せられましたが、いずれも識別できるまでの情報はなく、同一個体かどうかの確認はできていません。

昨今、気温・水温の上昇、南方系の生物北上などで温暖化が騒がれていますが、そのような酷暑の 2013 年夏に北からやってきた珍客でした。